

# J H F 理事会議事録

日 時： 2010年8月4日(水) 13:30～17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

## 1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 安田英二郎 議事録署名人： 内田孝也 山口淳一

## 2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 荒井健雄 市川 孝 内田孝也 大沢 豊 菊池守男  
工藤修二 安田英二郎 山口淳一

【監事】 對馬和也

欠席（理事） 城 涼一

（出席理事 8 名。今理事会は定足数を満たし成立した）

## 3. 理事・監事のひとこと

工藤理事：パラの足尾の大会に行ってきた。しばらくの間にすごいスピードで驚きの連続でした。回収も手伝って来ました。

荒井理事：ケガの為に欠席が続き、皆さんにご迷惑をおかけしました。

市川理事：定款に関して、総会で無事に承認されました。ありがとうございました。その後 6 月 30 日に三法委員会、制度委員会で今後の作業について話し合いました。7 月 21 日に文部科学省の担当の方が代わり、会長と事務局と挨拶へ行って来ました。8 月 31 日に公益認定等委員会の相談会に行ってきた。

事務局（東野）：エリア情報を去年募集し 46 件をアップしました。翻訳をして英文トップページにエリア一覧を追加しました。

大沢常任理事：パラグライダーの J1、J2 リーグの手伝いをして来ます。来年の日本選手権の開催地候補を見つけて、お願いしたいと思います。

内田会長：総会以降は、市川理事と同じく委員会と文部科学省への挨拶がありました。JAA の航空スポーツ室室長が横戸さんに交替しました。7 月 7 日に事務局に来ていただきお話をしました。パイロット出身の方なので、事故が起きるのはなぜか、減らさなければいけないということで取り組みはどうなっているかヒヤリングされました。今後も各航空スポーツ団体も含め検討課題となると思います。

菊池副会長：7 月に鳥人間コンテストの機体組み立ての審査に行ってきた。高温高湿で熱射病の方も出ていました。運営する側には飛んでいる人がいないので、危険に対してのアドバイスや提案が採用されていない状況でした。今後も言うべきことは言い、できるだけ応援、協力をしていきたいと思っています。

## 4. 審議事項

#### 第4-1号議案 2010年度PGアキュラシー日本選手権開催地承認について

2010年度パラグライディングアキュラシー日本選手権は、宮城県仙台市泉ヶ岳スキー場他で10月16日（土）～17日（日）の2日間開催するという事で開催承認を決議しました。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、内田、大沢、工藤、菊池、山口

#### 第4-2号議案 パラグライディングJ2リーグ年間登録について

内田会長：J2リーグは、F1リーグと言われた民間の競技会がなくなった後に、エントリーレベルの人達を競技会に誘い込む大会として一昨年から行なっているものです。PG競技委員会から、選手の敷居を下げて人を集めたいということで、年間登録をする際にお金を取らずに活性化させたいという要望です。

議長（安田常任理事）：今年度に限ったことですね。承認する方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、内田、大沢、工藤、菊池、山口

#### 第4-3号議案 JHF技能証規程の改訂について

制度委員会より、パラグライダー新教本課程に合わせ、タンデム技能課程（実技科目、学科科目）で一部改訂の提案があり決議しました。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、内田、大沢、工藤、菊池、山口

#### 第4-4号議案 デジタル無線機購入助成について

デジタル無線機購入助成（5,000円/台）を募集し7月31日に締切ました。下記対象者について、助成金を支払うことで決議しました。

（助成には、購入を証明する登録申請のコピー、3ヶ月後に機器使用についての評価書提出が必要になります）

ラ・ムエッティ	2台	おおさネイチャークラブ	3台	ウイングイット（福島県）	40台
青森県ハング・パラグライディング連盟	6台				
茨城県ハング・パラグライディング連盟	5台				
北海道ハング・パラグライディング連盟	74台			合計	130台

大沢常任理事：大会ではJHF無線を1回1,000円払ってもらい使っていますが、デジタル無線を持って来た場合には返すことを来年の大会から取り入れていきたいと思えます。

菊池副会長：将来的にはデジタル無線機に切り替わる方針を謳っておいた方がいいですね。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、内田、大沢、工藤、菊池、山口

#### 第4-5号議案 賛助会員の承認について

東京都品川区の株式会社ジャパンエニックス（無線通信機器の販売と保守、検査。無線通信システム及び付属装置の開発、製作）より賛助会員入会申込みがあり、承認された。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、市川、内田、大沢、工藤、菊池、山口

## 5. 協議事項

### 5-1 安全セミナーについて

内田会長：6月のJHF総会で安全セミナーについて議論されました。独自に開催している都道府県は15ヶ所あり、予算を出して欲しい、場所によってセミナーはまちまちなので最低限のことや基準を作って欲しい、パイロットにはセミナーの参加を義務付ける等の意見が出ました。講師を派遣できる様な準備を委員会と検討し、要請があった時にはJHFの予算で派遣できる様な方法を考えると回答をしています。理事会で話し合ったことを骨子として委員会に、具体的にやるにはどうしたらよいか企画案にして欲しいと諮問をしたいと思います。

大沢常任理事：安全セミナーと言っても、フライトの安全、エリアの安全等いろいろありますので、項目に分けていく所から安全性委員会にやってもらうのはどうでしょうか。

菊池副会長：安全セミナーは事業的に認めやすく、活動として支出しやすいので、予算とか項目は理事会で決めて、実際どうやっていくかを委員会に検討してもらおうということですね。

内田会長：その年の安全セミナーとしてどんなことをやったらよいかというノウハウ、基準を委員会で検討し、こういう項目の勉強会で、こういう教材がありますと提供するというのもアイデアだと思います。教員更新講習会のような全部ワンパッケージとはせず、テーマごとに複数の単品プログラムを多数用意して行って、開催者が選んで使えるのも良いかも知れません。

菊池副会長：著名なパイロットで指導してくれる人がいるので、その人を呼んで話をしてもらって、それをJHFの最小限の予算で確保して希望があれば全国で地区を分けて送り出して派遣するという形作りはどうでしょうか。

議長（安田常任理事）：その人のノウハウは個人のものであって、JHFでやる以上はJHFの基準が必要ではないですか。JHFとしては、誰がやっても最低限やらなければいけないことを抑えなければいけないし、それを提供して、それでその人が好きにやってもらうのは構わないと思います。

内田会長：全国に32人いる教員検定員には、本来の目的である教員検定をすること、あとは事故調査、教員講習会も行なってもらっています。その役割を広げ、一般フライヤーに対しての安全セミナーをやってもらうというのもよいかと思います。

議長（安田常任理事）：県連でやっているセミナーのレベルを揃えるために何らかの教材をいくつか提供するというのが現実的かなと思います。

内田会長：毎年そういうためにビデオを撮って、DVDビデオをスクリーンで30分位見られるのを作ってもいいかも知れません。全部JHF持ちで考えるか、ある程度能力のある人を派遣するか、基礎となる教材だけ作るか。教材を作るのはお金と人手をかけないと誰でも使える教材にはならないと思います。

大沢常任理事：最初から完成されたものではなくても、新しいことが増えれば足せるようなものでよいのでは。事故が起こってしまった時の保険に対してのアドバイスとかも入れられればよいと思います。

菊池副会長：予算的な裏づけをして、参加したいと思うような内容で、参加してよかったという結果が必要ですね。

議長（安田常任理事）：イメージ的に運転免許の更新の時に見せられるようなビデオみたいな、ビジュアルなものが分かり易くてよいと思います。フライトの安全、機体の安全とか項目があるのであれば、何種類かに分けて作っていければ。

内田会長：各県連で開催しているセミナーも、県連なりにフライヤーとの接点を持ってやっているのですが、毎年同じ内容では飽きられてしまいます。作るのは毎年作るか、ある程度基本プログラムを作るかですね。委員会にセミナーの視点と、どんなプログラムが出来るか、見せ方としてはビデオか教材か、誰が行けるかで検討してもらいましょう。

## 5-2 JHF サイトリニューアルの提案

広報のボランティア登録をしてくれている堀江氏から、認知度アップのためにも一般の人に興味を持ってもらえるようなサイトにしていきたいという提案がありました。

現状の問題点も考慮しリニューアルを検討していきます。

## 5-3 その他

教員・助教員更新講習会について総会で議題に上がり、制度再開2年目に参加者が少なかった問題を踏まえ今年度の調整方法について話し合った。これまでの理事会でも確認されたように、3年任期の全JHF教員・助教員の更新に、同一の更新講習会の適用が済む3年目までは、安易に実施方法の変更はしないという方針で、今年度の開催場所を全国10ヶ所程度以下に制限していくことを確認した。

## 6. 報告事項

### 6-1 予算実績表

### 6-2 現金・預金・郵便振替残高明細

### 6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

\_\_\_\_\_  
(安田英二郎)

署名人

\_\_\_\_\_  
(内田孝也)

署名人

\_\_\_\_\_  
(山口淳一)

議事録作成人：桜井加代子